

募集期間

令和7年4月1日(火)～令和8年1月30日(金)

インフラDX推進事業費補助金

インフラDXの推進に取り組む経費の一部を
最大50万円まで補助します

対象者

- ・秋田県内に主たる営業所を有し、秋田県の建設工事入札参加資格者名簿に登録されている者

対象事業

ICT活用工事の普及による建設現場の生産性向上や、現場事務作業のバックオフィス化による業務効率化等によって、インフラDXの推進に取り組むことを目的とする次のいずれかの事業

- (1) 3次元設計ソフトウェアの導入
- (2) 現場事務作業のバックオフィス化に向けた環境整備
(システム等導入、人材育成のための講習受講等に必要な経費)

補助率等

補助率 : 1/2以内
補助上限額 : 50万円
交付回数 : 1建設業者につき1回

建設DX加速化事業費補助金(R4～R6)を活用した事業者も対象になります。

残り少なくなってきました。また、補助対象も記載内容以上に幅広く認めています。
まずは担当者に相談してください！

実施期間

交付決定日から、最長で令和8年2月27日(金)まで

補助対象経費

対象経費として認められるものは、次のとおりです。

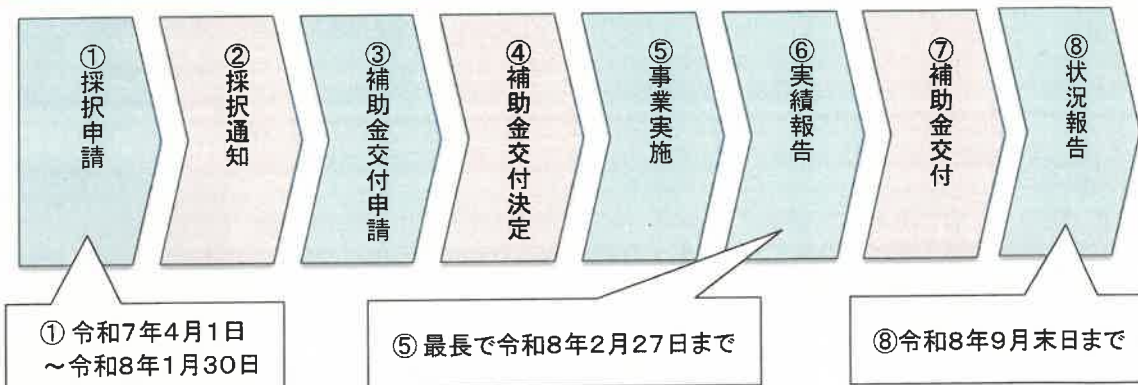
- (1) 3次元設計ソフトウェアの導入に要する経費
- (2) 現場事務作業のバックオフィス化に向けた環境整備に要する経費
(システム等導入、人材育成のための講習受講等に必要な経費)

※次のいずれか一つ以上に該当する場合は補助対象経費として認めません。

- ・国や地方公共団体等が交付する補助金等の対象である経費
- ・交付決定日前に注文、又は契約したものにかかる経費
- ・本事業の対象として明確に区分することができない又は証拠書類により金額等を確認することができない経費

応募から補助金交付までの流れ

建設業者
秋田県



応募方法

①から⑤までを応募書類提出先まで、電子メールでご提出ください。

◆実施要領様式

- ① インフラDX推進事業採択申請書（様式第1号）
- ② 事業計画書（様式第2号）
- ③ 収支予算書（様式第3号）
- ④ 誓約書（様式第4号）
- ⑤ 経費の算出根拠となる資料（見積書、システムの概要がわかる資料等）

※詳細は交付要綱、実施要領及び募集要項をご確認ください。

応募書類提出先・問い合わせ先

秋田県建設部技術管理課 積算管理・建設DXチーム

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号（県庁6階）

TEL：018-860-2432 FAX：018-860-3800 Email：techman@pref.akita.lg.jp

「インフラDX推進事業費補助金」の活用事例

・3次元設計ソフトウェア+ICT施工現場端末アプリ

3次元設計ソフトウェアは、3次元による設計データ作成・施工管理・データ納品までを行うことができるソフトです。

ICT施工現場端末アプリを活用することにより、3次元設計ソフトからデータ出力することで、事前の丁張計算を必要とせず、丁張を掛けたい測点を指定し、水平離れ、観測点法長等をリアルタイムに確認しながら、丁張設置が行えます。



・建設ディレクター育成講座受講費用

下記建設ディレクターHPにて受付中

<https://kensetsudirector.com/seminar/25016/>

※建設ディレクターとは、ITとコミュニケーションスキルで現場を支援する新しい職域です。主に工事施工に係るデータの整理および処理や、提出する書類の作成などを行い、現場技術者が品質管理などに集中できる環境をつくれます。



・ミーティングボード

会議に必要な機能を一台に集約した電子ホワイトボードで、現場と本社の双方から図面や工程表など同じ資料を見ながら打合せし、その場で直接書き込みができるため、意思疎通のズレを防ぎ、正確な情報共有が可能。

